

平成30年 4月 19日

野々市市議会議長 早川 彰一 様

(報告者)

会派名〔又は〕
代表者〔議員名〕

西本 政之



政務活動報告書

下記のとおり政務活動(調査研究、研修、要望・陳情)を実施したので、報告します。

期 間	平成30年 4月 16日から 平成30年 4月 17日まで
視察、研修、要望・陳情の場所	兵庫県明石市市役所、明石駅
参加者氏名	西本 政之
目 的 (調査・視察事項)	手話言語条例制定に向けての先進地の視察
調査・視察概要	<p>(目的、内容、結果、所感等について記入)</p> <p>明石市は手話言語だけにはとどまらない、「手話言語・障害者コミュニケーション条例」を制定している。更に「障害者配慮条例」を制定し合理的配慮の提供を支援している。また、職員採用にあたっては「成年後見任用確保条例」によって、全ての障がい者に平等な任用機会を確保し、率先して障がい者の自立と社会参加を促進している。これらの条例によって、市民が自然に配慮する光景が増えたと市長が強調していた。</p> <p>明石駅に隣接している施設には、日本に3台しかない手話フォンの1台が設置されており、一か月に85件程度の利用があるという説明をうけた。障害者団体の方々との意見交換会では、明石はたいへん住みやすいという意見がある一方、条例の周知・啓発がまだまだ足りないと感じているということだった。また、条例制定にあたっては、逆差別にならないように注意する必要があるともアドバイスをいただいた。</p> <p>今回の視察内容を参考にしながら、野々市市にはどのような条例が必要か、どこまで可能か皆で検討していきたいと思う。</p>
備 考	